148115

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2023年６月９日まで（2013年６月28日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	米国エネルギーＭＬＰオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし	ＵＳエネルギーＭＬＰファンド受益証券およびマネー・プールマザーファンド受益証券
	ＵＳエネルギーＭＬＰファンド	主にエネルギーや天然資源に関連するＭＬＰ（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	・主にエネルギーや天然資源に関連するＭＬＰ等を主要投資対象とします。 ・外貨建（米ドル建）資産について、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な組入制限	・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）原則として安定した分配を継続することを目指しますが、基準価額水準や分配対象収益を勘案し、委託会社が決定する額を付加して分配を行うことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

米国エネルギーＭＬＰオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし

愛称：エネルギー・ラッシュ

第82期（決算日：2020年５月13日）
第83期（決算日：2020年６月15日）
第84期（決算日：2020年７月13日）
第85期（決算日：2020年８月13日）
第86期（決算日：2020年９月14日）
第87期（決算日：2020年10月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「米国エネルギーＭＬＰオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし」は、去る10月13日に第87期の決算を行いましたので、法令に基づいて第82期～第87期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

MUFG
三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番１号
ホームページ　https://www.am.mufg.jp/

当運用報告書に関するお問い合わせ先	
お客さま専用フリーダイヤル	０１２０－１５１０３４ （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。	

ファンドマネージャーのコメント

◎運用のポイント：クオリティの高いＭＬＰに注目

当作成期については、クオリティの高いＭＬＰに注目した運用を継続しました。ＭＬＰが分配金を支払う上で十分なキャッシュ・フローの裏付けがあることを示す「カバレッジ・レシオ」で見た分配金の安全性が高いこと、親会社の強固なサポートを得ていること、経営陣の執行力が高いことといった観点で、質の高いＭＬＰに注目しました。新型コロナウイルスの感染拡大による景気悪化、米国議会・大統領選挙を控えた政策不透明感からエネルギー業界を取り巻く環境は厳しさを増しています。ポートフォリオでは、こうした厳しい環境を耐え抜くため、プロアクティブに減配などの措置を講じ、財務健全性を高めた銘柄の組入れ比率を引き上げました。足下、ＭＬＰ市場の利回りは2008年の金融危機時を上回る水準まで上昇しており、魅力的な投資機会を提供しているものと考えます。

◎投資環境と今後の運用方針

世界経済の成長期待が低下する中、景気敏感度の高いエネルギーセクターに対する投資家の関心が低下しており、2020年11月には米国大統領選挙というイベントを控える中、短期的に投資家が様子見姿勢を維持する可能性があります。一方で、米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）は雇用の回復に強いコミットメントを示し金融緩和の継続姿勢を強めており、当面は低金利環境の継続が見込まれます。このことは、利回り資産であるＭＬＰにとって追い風であると考えます。ＭＬＰは米国や世界経済にとって必要不可欠なエネルギー中流インフラ資産を保有しており、長期的に見て戦略的な価値は高いと考えています。ＭＬＰ市場の利回り水準は歴史的に見ても高い水準にあり、多くの悲観シナリオが織り込み済みであることを示唆しているといえ、魅力的な投資機会を提供していると考えます。当面は変動性が高い状況が続く可能性がありますが、投資先のキャッシュ・フロー創出力や財務健全性に注意を払った銘柄選択を継続する方針です。

ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー
プライベート・アセット・マネジメント・グループ
ラクリン・グループ
マネージング・ディレクター
ダグラス A. ラクリン

シニア・ヴァイス・プレジデント
パオロ R. フラッタロリ

上記は、ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーの資料を基に、三菱ＵＦＪ国際投信が作成したものです。

本資料の表記にあたって

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
58期(2018年５月14日)	5,493	30	8.3	－	－	99.1	38,027
59期(2018年６月13日)	5,854	30	7.1	－	－	99.1	39,755
60期(2018年７月13日)	5,818	30	△ 0.1	－	－	99.1	38,401
61期(2018年８月13日)	6,048	30	4.5	－	－	99.2	38,976
62期(2018年９月13日)	5,893	30	△ 2.1	－	－	99.2	37,181
63期(2018年10月15日)	5,713	30	△ 2.5	－	－	99.0	35,252
64期(2018年11月13日)	5,448	30	△ 4.1	－	－	99.1	33,197
65期(2018年12月13日)	5,228	30	△ 3.5	－	－	99.1	31,297
66期(2019年１月15日)	4,937	30	△ 5.0	－	－	99.0	29,127
67期(2019年２月13日)	5,176	30	5.4	－	－	99.1	30,300
68期(2019年３月13日)	5,257	30	2.1	－	－	99.1	30,367
69期(2019年４月15日)	5,477	30	4.8	－	－	99.0	31,374
70期(2019年５月13日)	5,188	30	△ 4.7	－	－	99.0	29,501
71期(2019年６月13日)	4,935	30	△ 4.3	－	－	99.0	27,875
72期(2019年７月16日)	5,138	30	4.7	－	－	99.1	28,848
73期(2019年８月13日)	4,466	30	△12.5	－	－	99.1	24,849
74期(2019年９月13日)	4,630	30	4.3	－	－	99.0	25,522
75期(2019年10月15日)	4,486	30	△ 2.5	－	－	99.1	24,728
76期(2019年11月13日)	4,289	30	△ 3.7	－	－	99.0	23,385
77期(2019年12月13日)	4,360	30	2.4	－	－	99.1	23,203
78期(2020年１月14日)	4,569	30	5.5	－	－	99.0	23,850
79期(2020年２月13日)	4,228	20	△ 7.0	－	－	99.0	21,915
80期(2020年３月13日)	1,978	20	△52.7	－	－	98.7	10,120
81期(2020年４月13日)	2,263	20	15.4	－	－	99.0	11,711
82期(2020年５月13日)	2,676	20	19.1	－	－	99.2	13,976
83期(2020年６月15日)	2,957	20	11.2	－	－	98.9	15,515
84期(2020年７月13日)	2,619	20	△10.8	－	－	99.1	13,635
85期(2020年８月13日)	2,840	20	9.2	－	－	99.1	14,740
86期(2020年９月14日)	2,422	20	△14.0	－	－	99.0	12,488
87期(2020年10月13日)	2,439	10	1.1	－	－	99.2	12,462

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率
			騰落率			
	（期　首）	円	%	%	%	%
	2020年４月13日	2,263	－	－	－	99.0
第82期	４月末	2,616	15.6	－	－	98.7
	（期　末）					
	2020年５月13日	2,696	19.1	－	－	99.2
	（期　首）					
	2020年５月13日	2,676	－	－	－	99.2
第83期	５月末	3,040	13.6	－	－	98.5
	（期　末）					
	2020年６月15日	2,977	11.2	－	－	98.9
	（期　首）					
	2020年６月15日	2,957	－	－	－	98.9
第84期	６月末	2,798	△ 5.4	－	－	99.2
	（期　末）					
	2020年７月13日	2,639	△10.8	－	－	99.1
	（期　首）					
	2020年７月13日	2,619	－	－	－	99.1
第85期	７月末	2,633	0.5	－	－	99.2
	（期　末）					
	2020年８月13日	2,860	9.2	－	－	99.1
	（期　首）					
	2020年８月13日	2,840	－	－	－	99.1
第86期	８月末	2,637	△ 7.1	－	－	99.3
	（期　末）					
	2020年９月14日	2,442	△14.0	－	－	99.0
	（期　首）					
	2020年９月14日	2,422	－	－	－	99.0
第87期	９月末	2,344	△ 3.2	－	－	99.4
	（期　末）					
	2020年10月13日	2,449	1.1	－	－	99.2

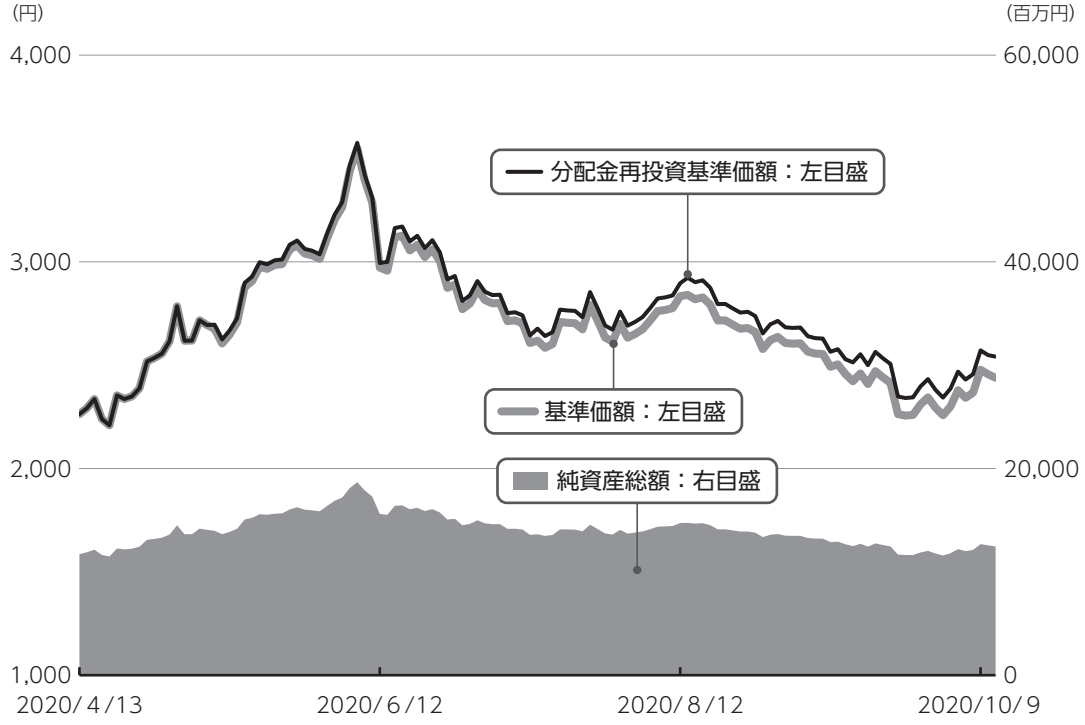
（注）当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第82期～第87期：2020年４月14日～2020年10月13日

当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第 82 期 首	2,263円
第 87 期 末	2,439円
既払分配金	110円
騰　落　率	12.3%

（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ12.3％（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

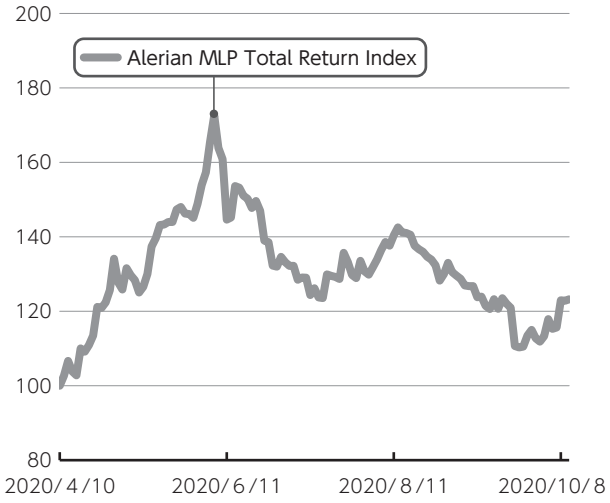
上昇要因

各国政策当局による金融緩和策や財政政策、経済活動の正常化への期待感の高まりなどを受けて投資家心理が回復したことなどから、ＭＬＰ等の価格が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

第82期～第87期：2020年４月14日～2020年10月13日

投資環境について

ＭＬＰ市況の推移（当作成期首を100として指数化）



▶ＭＬＰ市況

作成期を通してみると、ＭＬＰ市況は上昇しました。

当作成期の初めから2020年６月上旬にかけてのＭＬＰ市場は、各国政策当局による金融緩和策や財政政策、経済活動の正常化への期待感の高まりなどを受けて投資家心理が回復したことなどから、上昇しました。

その後、当作成期末にかけては、米シェール開発大手のチェサピーク・エナジーの連邦破産法11条の適用申請や、新型コロナウイルスの感染再拡大、米国大統領選挙で優勢と伝えられた環境重視の政策を掲げる民主党のバイデン氏によるエネルギー規制強化懸念などを背景にＭＬＰ市場は下落しましたが、期間を通しては上昇しました。

（注）「Alerian MLP Total Return Index」は、Alerianの登録商標であり、Alerianからの使用許諾に基づき使用しています。
（注）現地日付ベースで記載しております。

▶為替市況

作成期を通してみると、米ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2020年６月上旬にかけては、各国政策当局による金融緩和策や財政政策、経済活動の正常化への期待感の高まりなどを受けて投資家心理が回復したことなどから、米ドルは対円で上昇しました。

その後、当作成期末にかけては、ＦＲＢがゼロ金利政策の長期維持方針を発表したことに加え、新型コロナウイルスの感染再拡大などを受けて世界経済への先行き不透明感が強まったことなどから米ドルは対円で下落し、期間を通しては下落しました。

▶国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は０％を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは－0.020％となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶米国エネルギーＭＬＰオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし

米ドル建の外国投資信託であるＵＳエネルギーＭＬＰファンド受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール　マザーファンド受益証券への投資も行いました。

外貨建（米ドル建）資産については為替ヘッジを行いませんでした。

▶ＵＳエネルギーＭＬＰファンド

主にエネルギーや天然資源に関連するＭＬＰ等に投資を行いました。

ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行いました。

中流事業を手掛けるＭＬＰ等へ着目し、中でもキャッシュ・フローを見通しやすい銘柄群や天然ガス関連の銘柄群を選好しました。

その結果、天然ガス中流事業などを手掛けるタルガ・リソーシズなどの組入比率を高めとしました。原油や天然ガス市況の上昇などを受けてタルガ・リソーシズも大きく上昇しました。

▶ マネー・プール　マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、
利子等収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、分配金額を決定します。原則として安定した分配を継続することを目指しますが、基準価額水準や分配対象収益を勘案し、委託会社が決定する額を付加して分配を行うことがあります。この結果、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　目	第82期 2020年4月14日～ 2020年5月13日	第83期 2020年5月14日～ 2020年6月15日	第84期 2020年6月16日～ 2020年7月13日	第85期 2020年7月14日～ 2020年8月13日	第86期 2020年8月14日～ 2020年9月14日	第87期 2020年9月15日～ 2020年10月13日
当期分配金 （対基準価額比率）	**20** (0.742%)	**20** (0.672%)	**20** (0.758%)	**20** (0.699%)	**20** (0.819%)	**10** (0.408%)
当期の収益	20	20	20	20	20	10
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	1,268	1,286	1,293	1,304	1,313	1,328

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶米国エネルギーＭＬＰオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし

引き続き、米ドル建の外国投資信託であるＵＳエネルギーＭＬＰファンド受益証券を主要投資対象とします。外貨建（米ドル建）資産については原則として為替ヘッジを行いません。また、マネー・プール　マザーファンド受益証券への投資も行います。

▶ＵＳエネルギーＭＬＰファンド

引き続き、主にエネルギーや天然資源に関連するＭＬＰ等に投資を行います。ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行う方針です。当面は変動性が高い状況が続く可能性がありますが、投資先のキャッシュ・フロー創出力や財務健全性に注意を払った銘柄選択を継続する方針です。

▶マネー・プール　マザーファンド

消費者物価の前年比は依然として２％を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2020年４月14日～2020年10月13日

１万口当たりの費用明細

項目	第82期～第87期 金額（円）	第82期～第87期 比率（%）	項目の概要
(a)信託報酬	16	0.595	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(5)	(0.193)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(10)	(0.385)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.017)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	0	0.006	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.000)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.006)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	16	0.601	

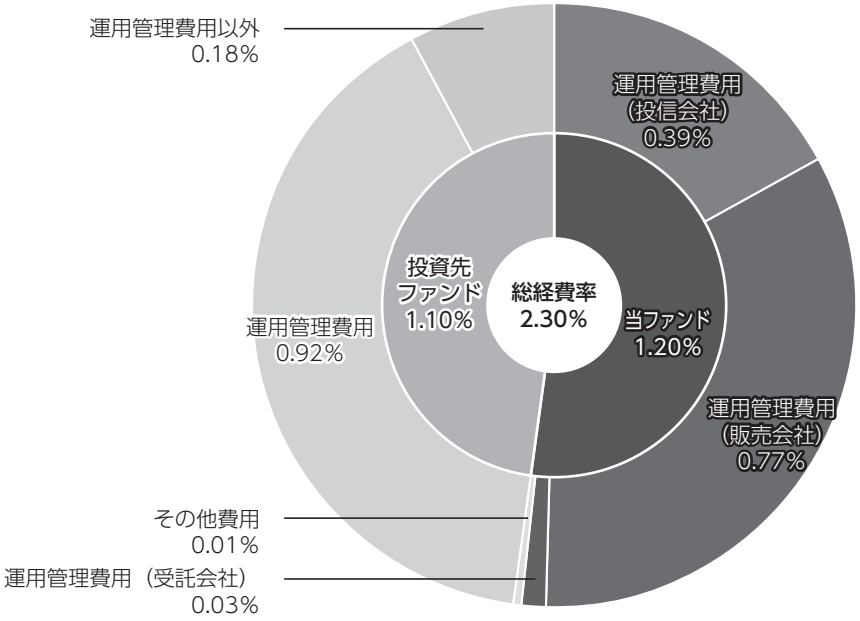
作成期中の平均基準価額は、2,698円です。

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
（注）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.30%**です。



総経費率（①+②+③）	（%）	2.30
①当ファンドの費用の比率	（%）	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	（%）	0.92
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	（%）	0.18

（注）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年４月14日～2020年10月13日）

投資信託証券

銘柄		第82期～第87期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	ＵＳエネルギーＭＬＰファンド	4,441,106	10,331	3,284,397	7,577

（注）金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

（2020年４月14日～2020年10月13日）

利害関係人との取引状況

＜米国エネルギーＭＬＰオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし＞

区分	第82期～第87期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	－	－	－	806	162	20.1

＜マネー・プール　マザーファンド＞

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪ銀行、モルガン・スタンレーＭＵＦＧ証券です。

○組入資産の明細

（2020年10月13日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄	第81期末	第87期末			
	口数	口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ）	千口	千口	千アメリカドル	千円	%
ＵＳエネルギーＭＬＰファンド	53,589,147	54,745,856	117,375	12,366,642	99.2
合計	53,589,147	54,745,856	117,375	12,366,642	99.2

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）比率は米国エネルギーＭＬＰオープン（毎月決算型）為替ヘッジなしの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄	第81期末	第87期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・プール　マザーファンド	996	996	1,000

○投資信託財産の構成

（2020年10月13日現在）

項目	第87期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	12,366,642	98.5
マネー・プール　マザーファンド	1,000	0.0
コール・ローン等、その他	189,822	1.5
投資信託財産総額	12,557,464	100.0

（注）作成期末における外貨建純資産（12,377,178千円）の投資信託財産総額（12,557,464千円）に対する比率は98.6%です。

（注）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

１アメリカドル＝105.36円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第82期末	第83期末	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末
	2020年５月13日現在	2020年６月15日現在	2020年７月13日現在	2020年８月13日現在	2020年９月14日現在	2020年10月13日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	**14,108,548,691**	**15,722,653,367**	**13,785,956,535**	**14,894,885,274**	**12,648,739,289**	**12,557,464,230**
コール・ローン等	246,247,714	266,192,601	161,084,441	116,612,007	178,806,159	105,432,634
投資信託受益証券(評価額)	13,861,300,678	15,347,837,916	13,509,726,054	14,614,549,555	12,364,859,160	12,366,642,269
マネー・プール　マザーファンド(評価額)	1,000,299	1,000,299	1,000,299	1,000,299	1,000,299	1,000,299
未収入金	－	107,622,551	114,145,741	162,723,413	104,073,671	84,389,028
(B) 負債	**132,245,417**	**206,777,525**	**150,924,823**	**153,918,913**	**160,381,727**	**95,021,399**
未払収益分配金	104,454,152	104,948,574	104,119,026	103,819,641	103,135,910	51,094,806
未払解約金	14,863,310	84,650,895	32,954,530	35,725,947	42,850,774	32,322,461
未払信託報酬	12,809,173	17,020,267	13,724,051	14,241,309	14,262,501	11,497,600
未払利息	186	206	151	163	492	83
その他未払費用	118,596	157,583	127,065	131,853	132,050	106,449
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	**13,976,303,274**	**15,515,875,842**	**13,635,031,712**	**14,740,966,361**	**12,488,357,562**	**12,462,442,831**
元本	52,227,076,293	52,474,287,349	52,059,513,360	51,909,820,792	51,567,955,356	51,094,806,685
次期繰越損益金	△38,250,773,019	△36,958,411,507	△38,424,481,648	△37,168,854,431	△39,079,597,794	△38,632,363,854
(D) 受益権総口数	**52,227,076,293口**	**52,474,287,349口**	**52,059,513,360口**	**51,909,820,792口**	**51,567,955,356口**	**51,094,806,685口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**2,676円**	**2,957円**	**2,619円**	**2,840円**	**2,422円**	**2,439円**

○損益の状況

項　　目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
	2020年４月14日～2020年５月13日	2020年５月14日～2020年６月15日	2020年６月16日～2020年７月13日	2020年７月14日～2020年８月13日	2020年８月14日～2020年９月14日	2020年９月15日～2020年10月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	**280,516,183**	**199,288,430**	**157,181,362**	**158,316,783**	**164,376,117**	**138,056,230**
受取配当金	280,837,938	200,968,223	157,797,701	158,772,352	165,094,771	138,698,727
受取利息	11,904	30,551	41,777	10,459	3,188	93
支払利息	△ 333,659	△ 1,710,344	△ 658,116	△ 466,028	△ 721,842	△ 642,590
(B) 有価証券売買損益	**1,977,773,999**	**1,360,282,738**	**△ 1,797,825,817**	**1,103,532,166**	**△ 2,200,724,826**	**13,466,841**
売買益	2,102,091,155	15,371,665,479	13,675,474,774	14,614,677,499	12,479,638,539	12,370,423,636
売買損	△ 124,317,156	△14,011,382,741	△15,473,300,591	△13,511,145,333	△14,680,363,365	△12,356,956,795
(C) 信託報酬等	**△ 12,930,476**	**△ 17,181,921**	**△ 13,852,472**	**△ 14,379,102**	**△ 14,395,890**	**△ 11,605,381**
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	**2,245,359,706**	**1,542,389,247**	**△ 1,654,496,927**	**1,247,469,847**	**△ 2,050,744,599**	**139,917,690**
(E) 前期繰越損益金	**△30,959,548,580**	**△28,372,059,113**	**△26,561,523,793**	**△28,048,274,459**	**△26,597,926,027**	**△28,334,179,678**
(F) 追加信託差損益金	**△ 9,432,129,993**	**△10,023,793,067**	**△10,104,341,902**	**△10,264,230,178**	**△10,327,791,258**	**△10,387,007,060**
（配当等相当額）	(5,037,508,893)	(5,094,551,295)	(5,064,232,605)	(5,060,978,880)	(5,035,926,727)	(4,999,069,386)
（売買損益相当額）	(△14,469,638,886)	(△15,118,344,362)	(△15,168,574,507)	(△15,325,209,058)	(△15,363,717,985)	(△15,386,076,446)
(G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	**△38,146,318,867**	**△36,853,462,933**	**△38,320,362,622**	**△37,065,034,790**	**△38,976,461,884**	**△38,581,269,048**
(H) 収益分配金	**△ 104,454,152**	**△ 104,948,574**	**△ 104,119,026**	**△ 103,819,641**	**△ 103,135,910**	**△ 51,094,806**
次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）	**△38,250,773,019**	**△36,958,411,507**	**△38,424,481,648**	**△37,168,854,431**	**△39,079,597,794**	**△38,632,363,854**
追加信託差損益金	△ 9,432,129,993	△10,023,793,067	△10,104,341,902	△10,264,230,178	△10,327,791,258	△10,387,007,060
（配当等相当額）	(5,037,508,893)	(5,094,551,295)	(5,064,232,605)	(5,060,978,880)	(5,035,926,727)	(4,999,069,386)
（売買損益相当額）	(△14,469,638,886)	(△15,118,344,362)	(△15,168,574,507)	(△15,325,209,058)	(△15,363,717,985)	(△15,386,076,446)
分配準備積立金	1,586,763,231	1,654,635,870	1,671,398,967	1,708,337,099	1,736,129,139	1,787,646,218
繰越損益金	△30,405,406,257	△28,589,254,310	△29,991,538,713	△28,612,961,352	△30,487,935,675	△30,033,003,012

（注）**(B)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
（注）**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注）**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

＜注記事項＞
①作成期首（前作成期末）元本額　51,748,094,313円
　作成期中追加設定元本額　3,164,128,300円
　作成期中一部解約元本額　3,817,415,928円
　また、１口当たり純資産額は、作成期末0.2439円です。
②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は38,632,363,854円です。
③分配金の計算過程

項　　目	2020年４月14日～2020年５月13日	2020年５月14日～2020年６月15日	2020年６月16日～2020年７月13日	2020年７月14日～2020年８月13日	2020年８月14日～2020年９月14日	2020年９月15日～2020年10月13日
費用控除後の配当等収益額	278,910,217円	197,092,577円	143,328,890円	156,512,206円	149,980,225円	127,482,554円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	5,037,508,893円	5,094,551,295円	5,064,232,605円	5,060,978,880円	5,035,926,727円	4,999,069,386円
分配準備積立金額	1,412,307,166円	1,562,491,867円	1,632,189,103円	1,655,644,534円	1,689,284,824円	1,711,258,470円
当ファンドの分配対象収益額	6,728,726,276円	6,854,135,739円	6,839,750,598円	6,873,135,620円	6,875,191,776円	6,837,810,410円
１万口当たり収益分配対象額	1,288円	1,306円	1,313円	1,324円	1,333円	1,338円
１万口当たり分配金額	20円	20円	20円	20円	20円	10円
収益分配金金額	104,454,152円	104,948,574円	104,119,026円	103,819,641円	103,135,910円	51,094,806円

○分配金のお知らせ

	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
１万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	10円

◆分配金は各決算日から起算して５営業日までにお支払いを開始しております。
◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
◆課税上の取り扱い

・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％、地方税５％）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。
※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。
※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

＊三菱ＵＦＪ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/）をご覧ください。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、米国エネルギーＭＬＰオープン（毎月決算型）為替ヘッジなしが投資対象とする米ドル建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名　　称	ＵＳエネルギーＭＬＰファンド
運　用　方　針	・主にエネルギーや天然資源に関連するＭＬＰ（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等*を主要投資対象とします。 *ＭＬＰ等には、ＭＬＰの出資持分のほか、ＭＬＰと実質的に同様の経済的な特徴を有するＬＬＣ（リミテッド・ライアビリティー・カンパニー）の出資持分、ＭＬＰに投資することにより主たる収益を得る企業の株式、およびＭＬＰに関連するその他の証券を含みます。 ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行います。 ※エネルギーや天然資源関連以外のＭＬＰ等にも投資を行う場合があります。 ・ＭＬＰ等の組入比率は、原則として高位を維持します。 ・個別証券の投資割合は、取得時において純資産総額の12%以内とします。
投資顧問会社	ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー* （Neuberger Berman Investment Advisers LLC）
信　託　期　限	無期限
設　　定　　日	2013年６月28日
会　計　年　度　末	毎年12月末
収　益　分　配	原則として、毎月分配を行います。

＊ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー（所在地：米国）は、ニューバーガー・バーマン・グループの一員であり、同グループの運用会社としての機能を有します。ニューバーガー・バーマン・グループは、1939年創業の独立系運用会社であり、米国、英国、香港等に運用拠点を置き、株式、債券、オルタナティブ資産運用等を世界の機関投資家や富裕層向けに提供しています。（2020年４月末現在）

ＵＳエネルギーＭＬＰファンド
損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

１．損益計算書

2019年12月30日に終了する期間　（千米ドルで表示）

収益	
受取配当金	25,035
受取利息	136
収益合計	**25,171**
費用	
運用受託報酬	(2,669)
管理者報酬	(416)
法務、税務及びその他の費用	(379)
監査報酬	(121)
保管費用	(39)
受託者報酬	(36)
名義書換事務代行手数料	(33)
費用合計	**(3,693)**
投資純利益（損失）	**21,478**
投資売却に係る実現純利益（損失）	(80,583)
当期実現純利益（損失）	**(80,583)**
未実現評価益（評価損）の純変動：	
- 投資	90,502
	90,502
法人税費用	(3,713)
運用による純資産の純増減	**27,684**

（注）（ ）内の金額は、マイナスの金額です。

２．純資産変動計算書

2019年12月30日に終了する期間　（千米ドルで表示）

期首純資産	**336,933**
純投資利益（損失）（税額控除後）	**17,765**
投資に係る実現純利益（損失）	(80,583)
	(80,583)
未実現評価益（評価損）の純変動：	
- 投資	90,502
	90,502
追加設定	9,509
一部解約	(111,221)
再投資	26,032
支払分配金	(26,032)
	(101,712)
期末純資産	**262,905**

（注）（ ）内の金額は、マイナスの金額です。

３．投資明細表

（2019年12月30日現在）
（千米ドルで表示）

銘柄	通貨	額面/数量	原価	時価	純資産比率
MARSHALL ISLANDS					
TEEKAY LNG PARTNERS LP	USD	400,000	14,497	6,140	2.34%
			14,497	**6,140**	2.34%
UNITED STATES					
ALLIANCE RESOURCE PARTNERS	USD	369,545	15,439	4,080	1.55%
BP MIDSTREAM PARTNERS LP	USD	411,160	6,239	6,480	2.46%
CHENIERE ENERGY INC	USD	150,000	10,151	9,150	3.48%
DCP MIDSTREAM LP	USD	115,000	3,946	2,809	1.07%
ENABLE MIDSTREAM PARTNERS LP	USD	400,000	6,249	3,988	1.52%
ENERGY TRANSFER LP	USD	1,800,000	29,753	22,878	8.70%
ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS	USD	800,000	21,217	22,304	8.48%
EQM MIDSTREAM PARTNERS LP	USD	200,000	12,430	5,796	2.20%
MAGELLAN MIDSTREAM PARTNERS	USD	125,000	7,481	7,664	2.92%
MPLX LP	USD	375,000	12,662	9,536	3.63%
NGL ENERGY PARTNERS LP	USD	250,000	3,550	2,783	1.06%
NUSTAR ENERGY LP	USD	616,000	22,794	15,825	6.02%
ONEOK INC	USD	276,000	14,716	20,816	7.92%
PHILLIPS 66 PARTNERS LP	USD	90,000	4,936	5,598	2.13%
PLAINS ALL AMER PIPELINE LP	USD	50,000	1,088	920	0.35%
SHELL MIDSTREAM PARTNERS LP	USD	1,125,000	23,445	22,455	8.54%
TARGA RESOURCES CORP	USD	510,000	20,848	20,502	7.80%
TC PIPELINES LP	USD	132,000	5,211	5,516	2.10%
WESTERN MIDSTREAM PARTNERS LP	USD	1,164,000	40,209	22,814	8.68%
WILLIAMS COS INC	USD	936,000	24,067	21,715	8.26%
			286,431	**233,629**	88.86%
TOTAL INVESTMENT IN SECURITIES			**300,928**	**239,769**	91.20%
CASH AT BANKS				7,381	2.81%
OTHER NET ASSETS				15,755	5.99%
TOTAL NET ASSETS				**262,905**	100.00%

マネー・プール　マザーファンド

《第22期》決算日2020年７月14日

［計算期間：2020年１月15日～2020年７月14日］

「マネー・プール　マザーファンド」は、７月14日に第22期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第22期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
18期(2018年７月17日)	10,044	△0.0	－	－	210
19期(2019年１月15日)	10,043	△0.0	－	－	159
20期(2019年７月16日)	10,042	△0.0	－	－	147
21期(2020年１月14日)	10,041	△0.0	－	－	130
22期(2020年７月14日)	10,041	0.0	－	－	117

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
(期　首)	円	%	%	%
2020年１月14日	10,041	－	－	－
１月末	10,041	0.0	－	－
２月末	10,041	0.0	－	－
３月末	10,041	0.0	－	－
４月末	10,041	0.0	－	－
５月末	10,041	0.0	－	－
６月末	10,041	0.0	－	－
(期　末)				
2020年７月14日	10,041	0.0	－	－

(注) 騰落率は期首比。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

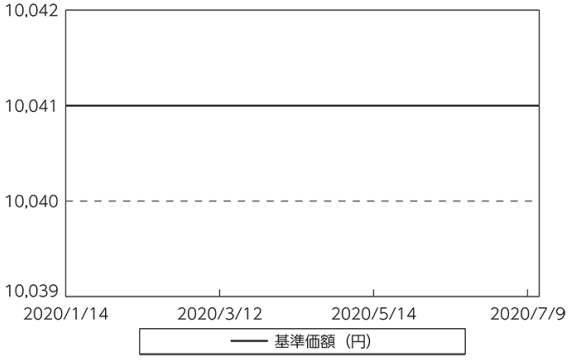
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

（上昇要因）

利子等収益が積み上がったことが基準価額にプラスに寄与しました。

（下落要因）

運用資金に対するマイナス金利適用が、基準価額にマイナスに作用しました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は０％を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2020年７月14日のコール・レートは－0.017%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

消費者物価の前年比は依然として２％を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローンおよびＣＰ現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○１万口当たりの費用明細

（2020年１月15日～2020年７月14日）

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

（2020年１月15日～2020年７月14日）

その他有価証券

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	コマーシャル・ペーパー	12,299,993	12,299,994

（注）金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

（2020年１月15日～2020年７月14日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2020年７月14日現在）

国内その他有価証券

区分	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コマーシャル・ペーパー	99,999	84.9

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

（2020年７月14日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
その他有価証券	99,999	84.9
コール・ローン等、その他	17,777	15.1
投資信託財産総額	117,776	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年７月14日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	117,776,541
コール・ローン等	17,776,594
その他有価証券(評価額)	99,999,947
(B) 負債	3,581
未払解約金	3,572
未払利息	9
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	117,772,960
元本	117,291,588
次期繰越損益金	481,372
(D) 受益権総口数	117,291,588口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	10,041円

＜注記事項＞

①期首元本額　130,172,909円
　期中追加設定元本額　5,915,947円
　期中一部解約元本額　18,797,268円
　また、１口当たり純資産額は、期末1.0041円です。

○損益の状況 (2020年１月15日～2020年７月14日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,852
受取利息	513
支払利息	△ 3,365
(B) 当期損益金(Ａ)	△ 2,852
(C) 前期繰越損益金	537,027
(D) 追加信託差損益金	24,188
(E) 解約差損益金	△ 76,991
(F) 計(Ｂ＋Ｃ＋Ｄ＋Ｅ)	481,372
次期繰越損益金(Ｆ)	481,372

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

マネー・プール・ファンドVI	65,831,543円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）ブラジル・レアルコース（毎月決算型）	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンドV（年２回決算型）	11,480,760円
世界投資適格債オープン（為替ヘッジあり）（毎月決算型）	5,154,901円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）円コース（毎月決算型）	4,314,823円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンドX（年２回決算型）	3,242,983円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンドIX（１年決算型）	1,800,890円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）資源国通貨バスケットコース（毎月決算型）	1,608,548円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーＭＬＰオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーＭＬＰオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし	996,215円
マネー・プール・ファンドIV	976,425円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）豪ドルコース（毎月決算型）	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）米ドルコース（毎月決算型）	119,857円
エマージング社債オープン（毎月決算型）為替ヘッジなし	99,682円
エマージング社債オープン（毎月決算型）為替ヘッジあり	99,682円
国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）円コース（毎月決算型）	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）為替ヘッジなしコース（毎月決算型）	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）米ドルコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）円コース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）メキシコ・ペソコース（１年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ユーロコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）米ドルコース（１年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）豪ドルコース（１年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ブラジル・レアルコース（１年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）メキシコ・ペソコース（毎月決算型）	99,592円

国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ユーロコース（１年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）円コース（１年決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）豪ドルコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ブラジル・レアルコース（毎月決算型）	99,592円
ＵＳ短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース（毎月決算型）	99,562円
国際オルタナティブ戦略 ＱＴＸ－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 ＱＴＸ－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジ）成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 ＱＴＸ－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 ＱＴＸ－ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型	99,561円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）中国元コース（毎月決算型）	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）トルコ・リラコース（毎月決算型）	19,961円
米国ハイ・イールド債オープン（通貨選択型）メキシコ・ペソコース（毎月決算型）	19,925円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（毎月決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（１年決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（１年決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）中国元コース（１年決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）南アフリカ・ランドコース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）トルコ・リラコース（１年決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）中国元コース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）トルコ・リラコース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）南アフリカ・ランドコース（１年決算型）	9,960円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）年２回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）年２回決算型	9,952円
欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジなし）	4,979円
欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジあり）	4,979円
米国高利回り社債ファンド（毎月決算型）	999円
米国高利回り社債・円ファンド（毎月決算型）	999円
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド（毎月決算型）	999円
合計	117,291,588円